

デイグランピング施設のイメージ



各務原にグランピング施設やBMXパーク

木曽川沿い、新公園着工

工事の安全を願う鎌を入れる浅野健司市長(右)と熊田光男社長
各務原市



各務原市前渡地区の木曽川右岸に今年12月にオープン予定の新公園の起工式が15日、現地で開かれた。デイグランピング施設やBMX

パークなどが設けられる計画で、整備に携わる関係者らが工事の無事を願った。
各務原浄化センター(前渡西町)の西側に広がるエリアに約2万平方メートルの公園を整備する。公園整備や運営は名古屋市の建設会社「葛井」を代表とする各務原トライアングル共同企業体(JV)が担う。
起工式には、JVの社員や市職員ら約20人が出席した。浅野健司市長は「BMXやデイグランピングなどこの辺りにはなかなかない施設によって必ずにぎわいが生まれるだろう」と期待を寄せ、葛井の熊田光男社

長は「身が引き締まる思い。地域の皆さんに喜んでもらえるようにしっかり建設、運営をやっていききたい」と思いを語った。
市は前渡地区木曽川周辺整備事業費として本年度一般会計当初予算に2億4821万円を計上した。公園の正式名称は「木曽川前渡南公園」だが、市とJVで今後より親しみの持てる愛称を決める方針。
(織部俊太郎)